

科目名	デザイン産業論				
授業形態	講義	学年	2		
開講時期	2023年度 前期	単位数	2		
担当教員	西手 良豊				
内容および計画	<p>デザイン産業は、情報・モノ・空間に新たな価値を創造、人や環境を配慮した提案を通じて社会的な諸問題を解決、世界の人々のコミュニケーションを容易にするため重要な役割を担うデザインを創造する知的産業です。</p> <p>このデザイン産業について、その役割、変遷、現状、課題などを総合的に学びます。</p> <p>そして新しいデザイン産業についても考えてみます。</p> <p>自らが「デザイン」や「デザイン産業」のあるべき姿について考えることが最も大切です。</p> <p>またデザイン事務所開設をケーススタディに、準備すべき項目も考えます。</p>				
1	デザインの役割：デザインとは、デザイン産業とは、デザイン事務所開設に向けて				
2	デザインの役割：産業としてのデザイン 日本のデザイン産業、日本の代表的なデザイン事務所仕事への取り組み方				
3	デザイン産業の変遷：ヨーロッパ 産業革命、工芸復興、装飾芸術、モダニズム、機能主義、ポストモダニズム等				
4	デザイン産業の変遷：ヨーロッパ（各国） 各国独自の展開と特徴（イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、北欧等）				
5	デザイン産業の変遷：アメリカ ビジネスのデザインとしての展開				
6	デザイン産業の変遷：アメリカ モダンライフ、情報デザインのリーダー				
7	デザイン産業の変遷：日本 国主導のデザイン、デザイン先進企業の活躍				
8	デザイン産業の変遷：日本 アナログデザインの成熟、デジタルデザインの到来、				
9	今日のデザイン産業と課題：情報のデザイン グラフィックデザイン分野				
10	今日のデザイン産業と課題：情報のデザイン CGデザイン分野				
11	今日のデザイン産業と課題：モノのデザイン プロダクトデザイン分野				
12	今日のデザイン産業と課題：モノのデザイン クラフトデザイン、ファッション分野				
13	今日のデザイン産業と課題：空間のデザイン インテリアデザイン分野				
14	今日のデザイン産業と課題：空間のデザイン エクステリアデザイン分野等				
15	新しいデザイン産業を考える デジタルデザインの本流、社会問題解決のためのデザイン、デザイン事務所開設に向けて				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	[カラー版]世界デザイン史	阿部公正	美術出版社	9784568400847	2012

教科書以外に授業の際資料も配布します。	
参考書	
成績評価	
	評価方法
	割合(%)
筆記試験	40
レポート	40
授業時の応答内容	20
学習到達目標	社会や産業におけるデザインの役割を理解し、自らの進む方向を見出すことができる。 デザイン産業への理解を深め、準備することができる。
先修条件	
実務経験	実務経験あり：東芝デザインセンターで家電から社会システムのデザインを行う。 またデザインコンサルテーション、新規事業、街づくりや地域再開発事業などを行う。 海外留学さらに女子美術大学、筑波大学等でのデザイン教育を通してデザイン産業を幅広く体験。 こうした経験を基にデザイン産業について教授します。
その他	